

グループホーム すいせん渡橋 報告書

令和4年12月 管理者

① 運営状況について

- 10月 入居者数 9名（女性8名、男性1名） 平均介護度 2.88
11月 入居者数 9名（女性8名、男性1名） 平均介護度 2.88→3_(11/28~)
11月13日に女性・85歳・要介護3の方が退居となり、11月15日に女性・87歳・要介護3の方が入居されました。
11月27日に女性・98歳・要介護2の方が退居されました。

② 活動報告

行事

- ・10月10日 運動会
紅組・青組に分かれて、玉入れ競争・たすき渡し・枕カバー入れ・パン（どら焼き）食い競争を行いました。玉入れは、椅子に座って新聞紙の球をかごに投げ入れていただきましたが、全員の方が身を乗り出し、スタートやストップも耳に入らない位に投げ続けていらっしかったです。枕カバー入れは、ご自分の枕とカバーをしましたが、枕やカバーの大きさで速さが決まってしまうました。お昼は、おにぎり・豚汁・漬物・大社の天ぶら・果物を提供しました。午後はパン食い競争で取られたどら焼きをお茶時に食べていただきました。少ない競技数でしたが一生懸命競われました。
- ・10月29日 四絡まつり 作品出展
30日 四絡公民館のお祭りにケアセンター出雲の3部署から、神話の国出雲をテーマに貼り絵を出展しました。グループホームでは、須佐之男命の貼り絵を出展しました。
- ・11月11日 誕生日会
誕生日の方のリクエストである、酢の物・白和え、他には赤飯・かぶら蒸し・舞茸の天ぶら・漬物・吸い物・果物を昼食に食べていただきました。午後のお茶時に、ホールの誕生日ケーキでお祝いをし、入居者様からお祝いの言葉と歌をプレゼントしました。
- ・11月26日 誕生日会
11月15日に入居された方の誕生日会を行いました。誕生日の方の

リクエストである漬物の他に、秋刀魚の塩焼き・煮物・酢の物・果物を昼食に提供しました。中庭で、秋刀魚を炭火で焼きました。火加減を職員と一緒に見ながら、うちわで仰いでいただきました。秋刀魚に付け合わせる大根おろしもお願いしました。今年初物の秋刀魚は、とても珍しく「なかなか食べられんね」と言いながら召し上がっておられました。

③ 今後の予定

- ・ 12月21日 クリスマス会
- ・ 12月15日 身体拘束適正化委員会
- ・ 12月23日 昼食レク(おでん)

④ 研修報告 (内部研修)

- ・ 10月 プライバシー保護の取り組みに関する研修
- ・ 11月 接遇に関する研修

⑤ ヒヤリハット報告

- ・ 10月 … 1件
 - 朝7時に、事務所内から小規模側へ行く戸の前に立っておられた。
改善策：ホールの見守りが十分に出来ない時間のみ、事務所入口を施錠する。
- ・ 11月 … 8件
 - 夜間、真っ暗な中で移動し、何も無い場所に座ろうとされる。
改善策：センサー反応があった時は、すぐに訪室し、電灯をつける。
 - 中庭に、乾いていない洗濯物を取りに出ておられた。
改善策：ホールから中庭に出られる時は、窓の段差もある為、見守りをする。
 - 歩行器使用の方が、昔使っておられた杖を使ってホールまで出て来られる。
改善策：ご家族様に連絡をし、施設で預かる。
 - 歩行器を使わず、ホールの席から5m位歩いて出ておられた。
改善策：目配り、気配りを怠らない。
 - 午後のお茶に、遅れて出て来られた方のお菓子を自分のポケットに入れ、お茶は職員にくださる。
改善策：入居者様がホールに出て来られてからお配りする。

- 上義歯が他の入居者様のコップ(ケース)に入っていた。
改善策：口腔ケア時に、入居者様の義歯がご自分のケースに間違いなく入っているか確認をする。
- ホールで座っておられる椅子が傾いていた。(椅子の前脚がリハビリテーブルの下の支えの所に載っていた)
改善策：身体を動かされた時は、姿勢や、テーブル・椅子の位置に問題がないか確認をする。
- 朝 7時 25 分に、グループホームの入り口を出て玄関の戸を開けようとしておられた。
改善策：時間を決めてグループホーム入り口に施錠をしているが(ご家族様の同意書あり) 鍵が揺るんでいた為、定期的に確認をする。

⑥ 事故報告

- 10月1日 女性・85歳・要介護3
14時25分に玄関側のトイレに行かれ、便座に座られたのを確認し、その場を離れた。1~2分して、グループホーム入り口の戸に掛けてある鈴が鳴った様な気がして見に行ったが、トイレや事務所におられなかった為、一旦ホールに戻った。しかし、気になり再度トイレに見に行くが、姿が見えなかった。
小規模の職員に伝えに行くと、駐車場を歩いておられる姿が見えた。
改善策：玄関側のトイレを使用される時は、そのまま入り口から出られる可能性が高い為、見守りを行う。グループホームの入り口は、状態によって開閉し、不穏時のみ施錠する。
- 11月8日 女性・98歳・要介護2
22時50分に臥床されたのを見守りした後、23時05分に巡視した時にも入眠しておられた。いずれも居室は豆電球が点いていた。23時25分にセンサー反応があり、訪室しようと居室の前辺りまで来た時に、ドッスンと大きい音がした。訪室すると、真っ暗な中でPトイレの右斜め前に設置してあるタッチアップの傍で倒れておられた。帽子を探したと言われる。
改善策：独歩の方で、夜間は電灯を点けずに、真っ暗な中で移動される事もあり、センサー反応があった時は、急いで訪室し電灯を点け、転倒防止に繋げる。
豆電球を点けても切られる事はあるが、訪室時、巡視時は再度、豆電球を点け真っ暗な状態にならない様にする。

⑦ 職員の配置状況

11月2日より、夜勤専従の職員の入社がありました。

⑧ その他

11月28日 消火訓練を行いました。小規模の厨房から出火した想定で避難を
しました。水消火器を使つての消火訓練を、入居者様と職員が行い
ました。

毎日午前中に行っているラジオ体操を、入居者様と職員も声を出しながら、しっかり
と行う事を日課としています。

天気の良い日は、中庭に出ていただいたり、機会をみつけて散歩をしていただく様
に心掛けています。

以上